

事業所名

スペシャル・ニーズ・サポートカレッジ 単1

支援プログラム

作成日

令和7 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		私たちは、一人ひとりに違いがあります。その違いが学びにくさや働きにくさ、生活の困りとなる場合があります。その苦手や困りをテクノロジーで支援し、持っている力を最大限引き出し活躍できる社会を目指します。									
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けて必要なスキルを身につけるための支援を行う ・学校と家庭以外の居場所である環境づくりを行う ・子どもの特性を理解し、どんな小さなことでも褒めて自信をつける支援を行う 									
営業時間		平日 学休日	13 10	時 30	30 30	分から 17	17 時 30	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	就労に向けて健康に活動できるための基本的な生活習慣の送り方を知り取り組むための支援を行う 持ち物の管理、自己の身の周りの整理を自ら自主的に行えるように支援します 防災訓練（避難訓練・・・火災及び自然災害）に於いて、防災に対する意識を高め、自分の命を守るために児童達が安全に避難できるように練習を行います									
	運動・感覚	自己の心身の状態を感じて、心と体の状態を知ることができるように支援します。また、状態を知ることによって自己の体力をコントロールできるように支援します 工作を行うことで、指先の巧緻性などの練習を行います 長時間椅子に座った後、ストレッチを行い気持ちをリフレッシュさせる取り組みを行います									
	認知・行動	個別学習の中で、日常生活で必要とされる時計・お金の計算・漢字の読み書きなど学習支援を行うことで生きていくために必要とされる力を身につけられるように支援します タイムスケジュールに沿って活動ができるように時計を意識し、自発的に行動できるようにデジタルタイマーで知らせるなど環境を整えて支援を行います パーテーションを用いて視覚刺激の少なくし、集中して取り組めるような環境をつくり支援します									
	言語 コミュニケーション	自立に向けて自分が困ったときに他者に助けを求めることができるように思いを伝えるための手段を支援していきます 集団で過ごす中で他者と上手に会話を行うために自分の思いだけを伝えるのではなく、相手の返事を待ち言葉のやり取りができるように支援します									
	人間関係 社会性	お店でお金を支払う、お釣りをもらうなどお金の計算をツールを活用してできるように支援します 自立に向けて集団活動を通しルールを守る、協力するなど他者と一緒に過ごしていくために必要なスキルを身につけるための支援を行います 就労体験を行うことで将来の進路に向けての意識を高め、またマニュアル通りに作業する、時間を守るなど就労で必要とされるスキルを身につける支援を行います									
家族支援		保護者との面談を6ヶ月に1度行う 学校や相談支援事業所等の関係機関と連携をとる				移行支援		進学先、就労先との情報の共有を行う 進学や就労に向けてのスキルを身につける			
地域支援・地域連携		就労体験を行うなど地域の就労支援事業所との連携 関係機関との連携との情報の共有				職員の質の向上		定期的な研修を行い職員のスキルの向上を図る 毎日のミーティングに於いてお子様の情報共有及び支援についての検討を行う			
主な行事等		避難訓練（火災・自然災害）・・・年2回 各季節におけるイベント 長期休みでの外出のイベント 保護者会									